

指導班だより



R1.6.5 No1
宮城県大河原教育事務所 指導班

今年度も学校訪問は、「協働による授業づくり」についての指導・助言を実施しております。昨年度に引き続き授業の中で「協働による授業づくり」や「指導の工夫」等について参考となる事例を「指導班だより」として紹介いたします。

今回は、5月16日（木）に行われた、丸森町立丸森中学校の学校訪問での「3年生保健体育」の授業を紹介いたします。生徒同士の「学び合い」にポイントを置いての授業実践です。

丸森町立丸森中学校 3年保健体育「陸上競技（短距離走・長距離走・ハードル走・走り幅跳び・走り高跳び）」

事例のポイント→学び合いを通して技能を高め楽しさを実感する。

- ①種目別グループ活動による伝え合いと教え合いの実施
- ②伝え合う・教え合う具体的ポイントの提示
- ③学習カードを活用して見通しを持つ、振り返り

授業を支えるもの

- 学級委員やグループリーダーを中核とした意欲的な学習集団
- 励まし認め合う人間関係の醸成

<本時の指導案概要>

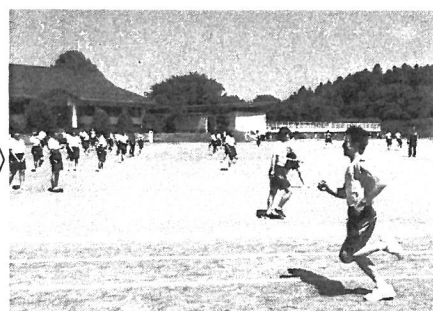
<本時の目標>

- ・自分の課題を見付け、練習方法を考えて取り組むことができる。【思考・判断】
- ・自己の能力に応じた課題を持って、基本的な技能を身に付け、記録を高めることができる。【技能】

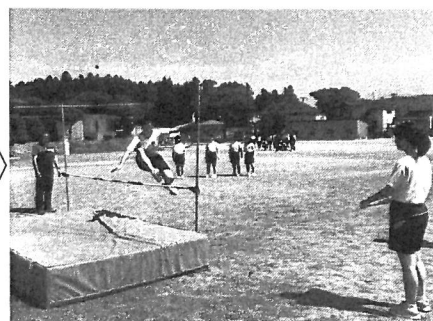
段階	学習活動	形態	教師の支援及び留意点	評価
導入 10分	1 ウォーミングアップをする。 ・グラウンド3周 ・体操、補強運動 ・陸上ドリル 2 整列し、あいさつをする。 3 学習内容の確認 ※本時の実施種目の確認をする。	一 斉 一 斉 グループ	・各種目に必要な動きを十分に行わせる。 ・きちんと整列させ、健康状態、服装の確認をする。 ・学習内容を簡潔に説明し、学習の見通しをもたせる。 【5つの提言③】	
展開 30分	(種目別グループ活動)	グループ	・グループ内の役割分担を明確にし、円滑に活動できるようにする。	①
	4 グループごとに話し合いをする。 5 グループごとに課題に取り組む。 ○短距離走 ・スタート練習 ・50m走記録計測 ○長距離走 ・5分間走 ・インターバルトレーニング ・記録計測 男子1000m 女子800m ○ハードル走 ・抜き脚ジョギングハードル ・50m ハードル走記録測定 ○走り幅跳び ・助走練習 ・記録計測 ○走り高跳び ・助走（歩数）練習 ・記録計測	グループ	・本時の自己課題を明確にし、学習カードに記入させる。グループごと具体的な練習内容を確認する。 ・学習カードなどから適切な課題解決の道筋ができているかどうかを確認し、不十分な場合には個別に指導する。 ・各種目の支援、指導。お互いに励まし合いながら練習させる。 【手だて1・5つの提言②】	②
終結 10分	6 後片付けをする。 7 グループごと整理体操を行う。 8 グループごと、本時の反省、授業のまとめをする。 9 本時の学習と、次時の内容を把握し、最後にあいさつをする。	グループ グループ グループ 一 斉	・敏速な行動の下、協力して行わせる。 ・グループごと使用した部位を中心にストレッチを行わせる。 ・グループごとに学習内容を振り返り、きちんと話し合い、学習カードへの記入ができるよう助言する。 【5つの提言④】 ・本時の学習内容について、また次時の内容を説明する。	

<授業の実際・生徒の様子>

<導入>「もっと脚を上げて！」生徒同士が声を出し合い、各種目の動きのポイントを意識して体を動かす。



<展開>グループごと、友達のよさや修正点などを見付けて助言し、お互いを励まし合いながら記録の向上を目指す。



<終結>「友達から、踏切位置の確認についてアドバイスをもらい、目標以上の高さを跳べて嬉しかった。」等、目標達成に向けた自分の取組について、具体的に振り返る。